

## 4K・8K 放送市場調査結果のまとめ (2023年2月調査)

- 4K(8K)テレビの所有率は緩やかに上昇、満足度は9割超えの高水準を維持
- 新4K8K衛星放送視聴者では、映画、自然・ネイチャー、音楽ライブ、スポーツなどの番組ジャンルを4K8Kで視聴したいという意向がとて高い
- 新4K8K衛星放送視聴のきっかけとして、関連イベント、動画でのプロモーションやキャンペーンなど、放送事業者やA-PABが行っている普及推進活動も一定の効果がみられたなどが、今回の調査でわかりました。

### 【A-PAB「4K・8K放送市場調査」とは】

一般社団法人放送サービス高度化推進協会（東京都港区：理事長 相子宏之、以下 A-PAB）は、4K・8K 放送サービスならびにその関連事項について、一般の方々の認知・理解度などを測る調査を2016年より定期的に実施しています。4K(8K)テレビの普及状況、2018年12月に始まった新4K8K衛星放送の視聴状況や満足度、及び、テレビ放送のポジショニングなどについて、前回調査（22年9月実施）および前々回調査（22年2月実施）等と比較しながらまとめましたのでご紹介いたします。

### 【結果概要】

#### 【4K（8K）テレビ / 新4K8K衛星放送について】

今回の結果では、4K・8K チューナー内蔵・非内蔵を含め4K(8K)テレビ所有は21.8%と、所有率は徐々に高まってきています。4K(8K)テレビについての満足度は9割超えで、前回から僅かに上昇しています。「大きな画面で見られる」「2K放送もきれいな画質で見られる」ことが、主な満足理由である様子が窺えます。

新4K8K衛星放送の視聴経験者は前回とほぼ同じく約6%で、この視聴経験者における「画質・臨場感」への満足度は約9割と、引き続き高評価を獲得しています。一方で、新4K8K衛星放送の認知度は放送開始時をピークに伸び悩み、さらなる理解促進施策が必要といえます。

新4K8K衛星放送で視聴したいジャンルは、「映画」「自然・ネイチャー」「音楽コンサート・ライブ中継」「旅・紀行」「音楽番組」が上位となっています。視聴経験者においては、「映画」「自然・ネイチャー」「旅・紀行」「音楽コンサート・ライブ中継」の「視聴したい計」が7割を超えており、全員に聞いた結果の数値より大きくなっています。ニュース系・バラエティー系を除くすべてのジャンルで、半数以上が「視聴したい」と回答しています。

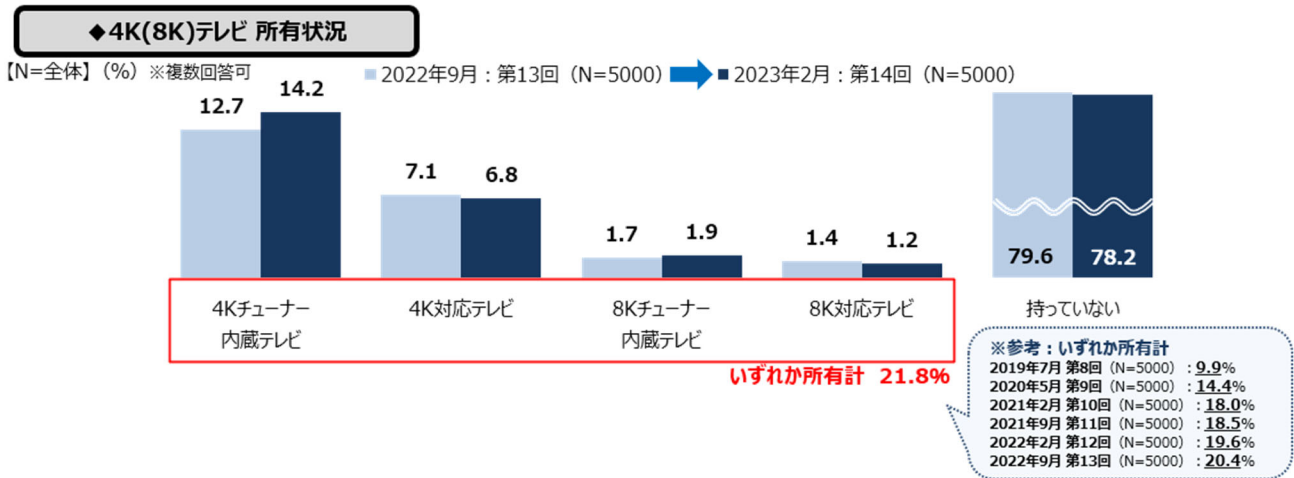
#### 【テレビ放送のポジショニングについて】

テレビ放送・動画サービスの位置づけは、テレビ放送を「なくてはならない」と捉えているのは全体の4割以上、「あった方がよい」との合計は約8割と、大半がテレビ放送を「自分にとって必要」と感じている様子です。テレビ受信機で行っていることは、「テレビ番組の視聴」が約8割で突出しています。動画サービスに対するポジティブな評価が徐々に高まってきていますが、テレビ放送の評価もこれまで通り高水準を維持しており、「動画サービスがテレビ放送に取って代わる」ということはなく、「両方とも必要」と捉えられている様子です。（次ページより詳細）

# 【4K(8K)テレビ 所有状況 / 満足度】

## 1. 4K(8K)テレビ所有状況

4K(8K)テレビの所有は約2割で、時系列で見ると所有率は徐々に高まっています。所有テレビの内訳は、前回とほぼ同様の結果です。

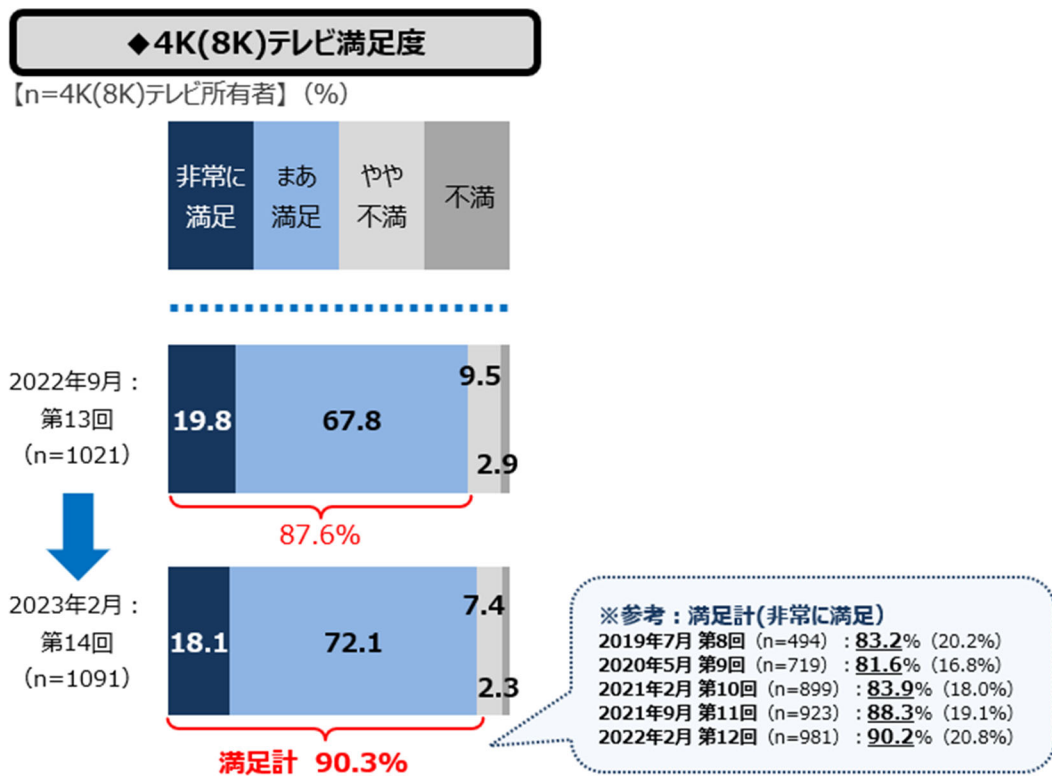


## 2. 4K(8K)テレビ満足度 満足・不満足理由

4K(8K)テレビ所有者の90.3%が4K(8K)テレビについて「満足」と回答し、前回よりも僅かに上昇しています。

満足理由は、「大きな画面で、番組や映像が見られるから」「現在の地上波などの放送(2K)も、きれいな画質で見られるから」が上位で、主に画面の大きさや画質に満足されている様子が窺えます。

不満足理由は、「新4K8K衛星放送でおもしろい番組がない」が21.7%で最も高いですが、前回と比べると減少していることが確認できます。一方で、「チューナーの設置が面倒」「新4K8K衛星放送のチャンネルが少ない」は、いずれも10%台後半でやや増加しています。多くの項目で前回よりも数値が減少している傾向がみられることから、不満点が減ったことも考えられます。

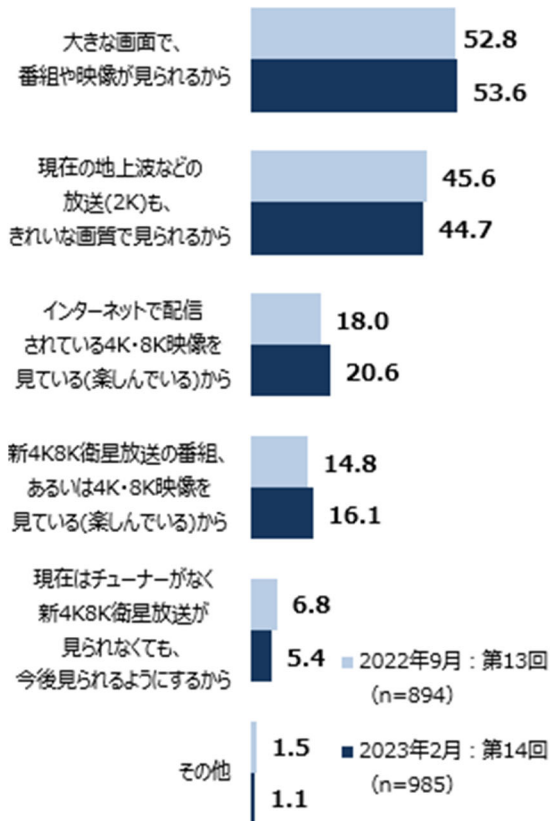


満足理由、不満足理由のグラフは次ページ

### ◆4K(8K)テレビ満足理由

【n=4K(8K)テレビ満足者】(%) ※複数回答可

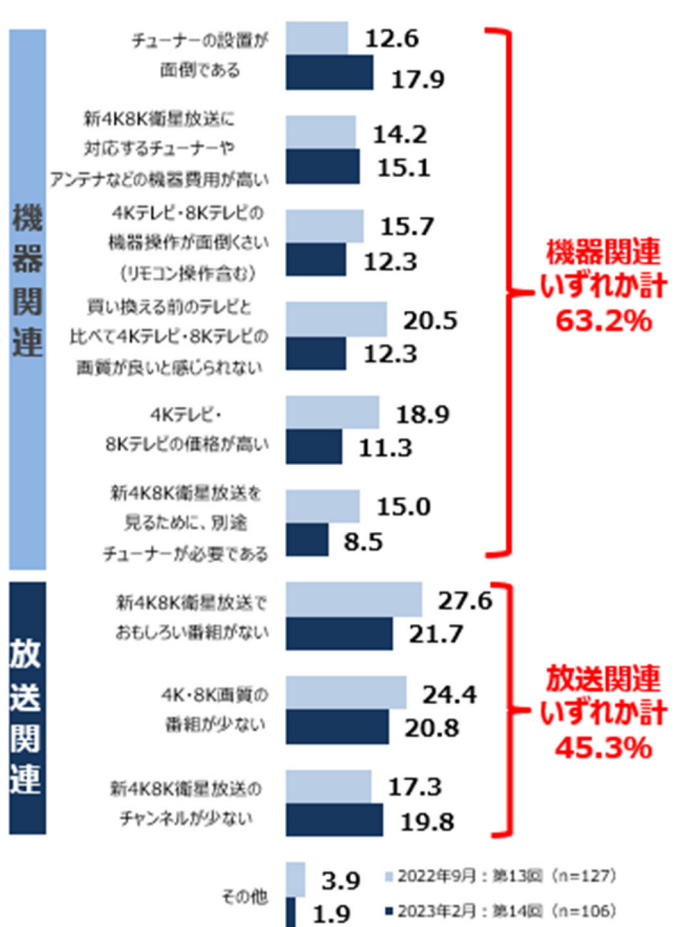
※全体(第14回)の降順にソート



### ◆4K(8K)テレビ不満理由

【n=4K(8K)テレビ不満足者】(%) ※複数回答可

※全体(第14回)のジャンル内で降順にソート



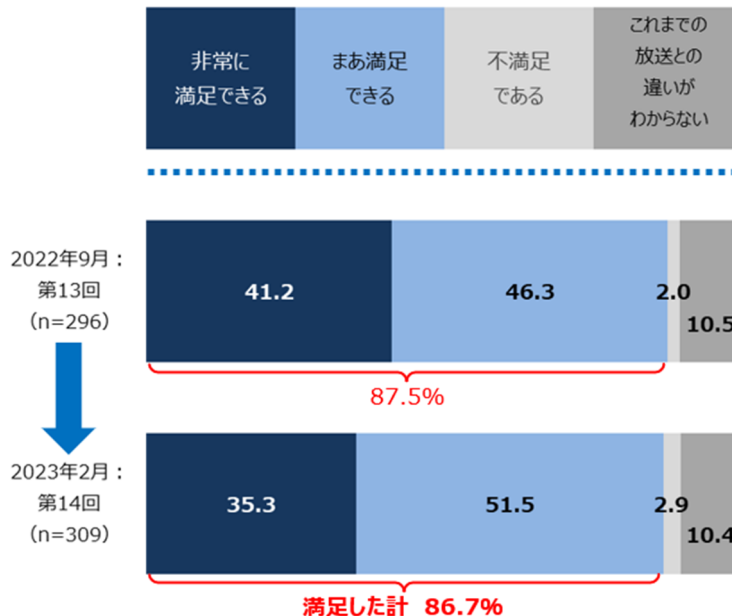
### 【新 4K8K 衛星放送 関連】

### 3. 視聴経験者の 新 4K8K 衛星放送の満足度

新 4K8K 衛星放送を視聴した人は前回やそれ以前と概ね同様の 6.2%で、です。この視聴経験者における「画質・臨場感」の「満足した計」は約 9 割と高水準ですが、「非常に満足できる」という強い満足層はやや低下しています。

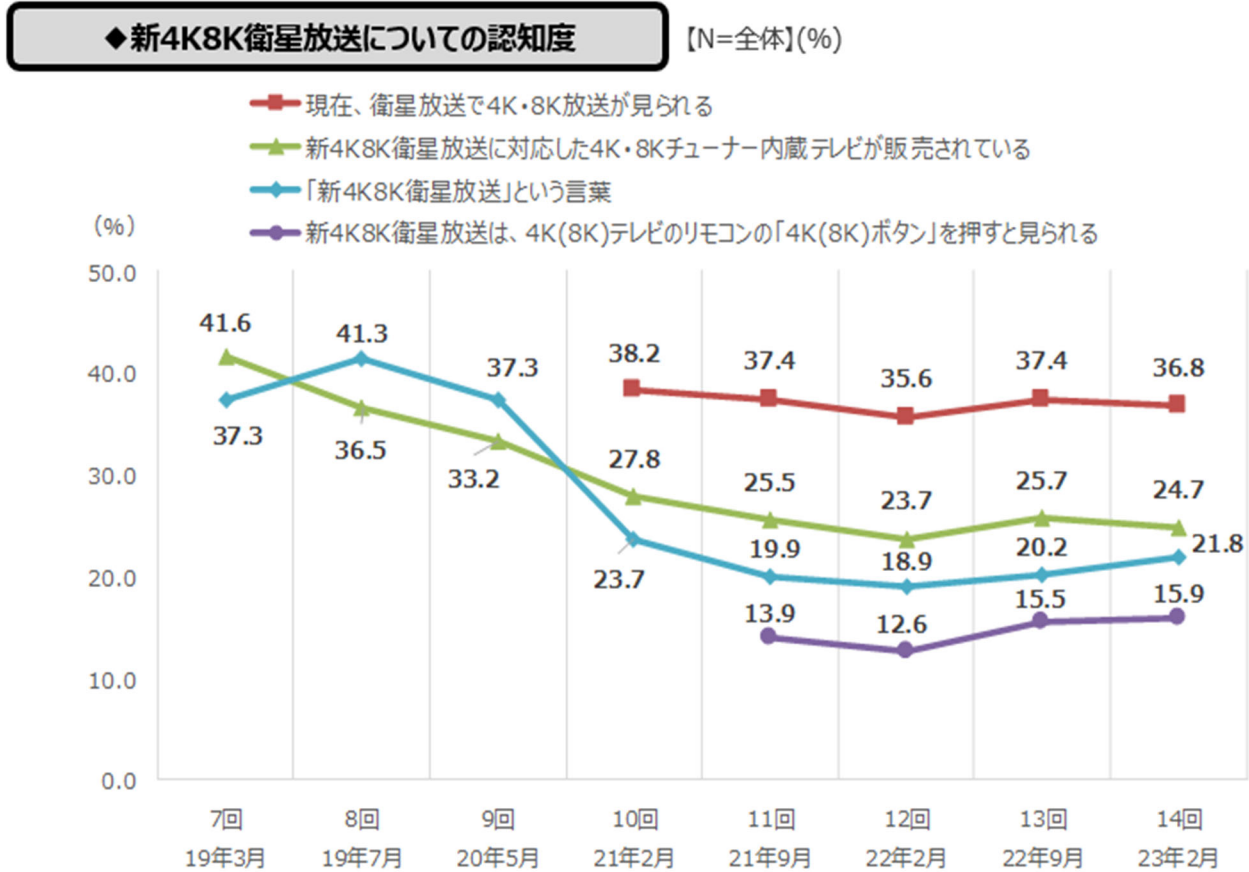
### ◆新4K8K衛星放送「画質・臨場感」満足度

【n=新4K8K衛星放送視聴経験者】(%)



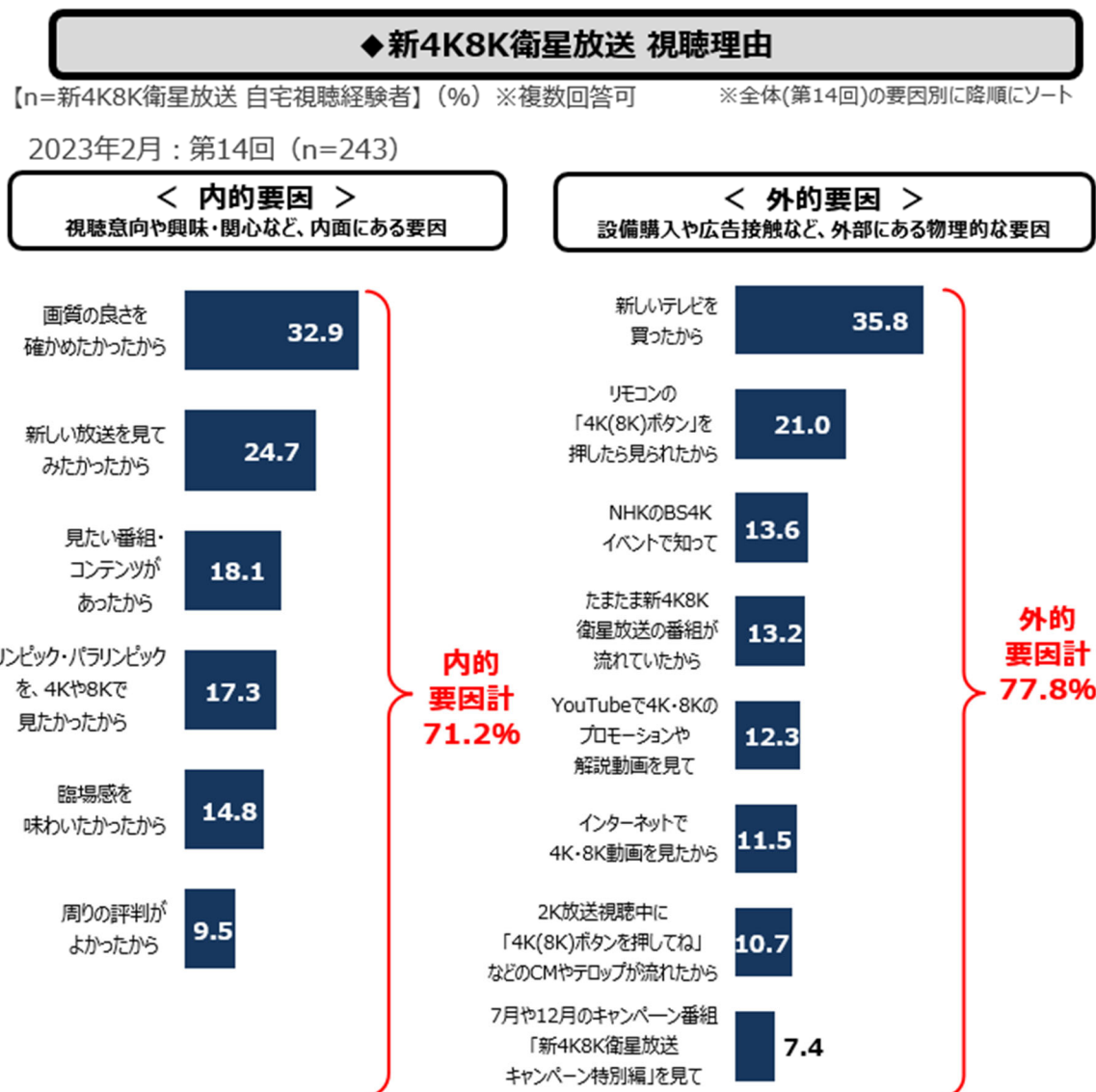
#### 4. 新 4K8K 衛星放送認知度

新 4K8K 衛星放送に関する認知度は、前回と大きな差はみられませんでした。「新 4K8K 衛星放送に対応した 4K・8K チューナー内蔵テレビが販売されている」ことや「新 4K8K 衛星放送という言葉」よりも、「現在、衛星放送で 4K・8K 放送が見られる」ことの認知度が高いのも、これまでと同様の傾向です。配信を含めて映像コンテンツの選択肢が広がるなか認知度が増加していないことから、一層の周知施策が必要であることがわかります。



## 5. 新4K8K衛星放送 視聴理由

新4K8K衛星放送を視聴したきっかけを聞いたところ、内的要因で「画質の良さを確かめたかったから」「新しい放送を見てみたかったから」、外的要因で「新しいテレビを買ったから」「リモコンの「4K(8K)ボタン」を押したら見られたから」が上位にあがっています。「NHKのBS4Kイベント」「YouTubeのプロモーションや解説動画」「4K(8K)ボタンを押してね」のCMやテロップ」などの広報をきっかけに視聴した人は、それぞれ10%台前半で、一定の効果があることがわかりました。



## 6. 新4K8K衛星放送 視聴したい番組ジャンル

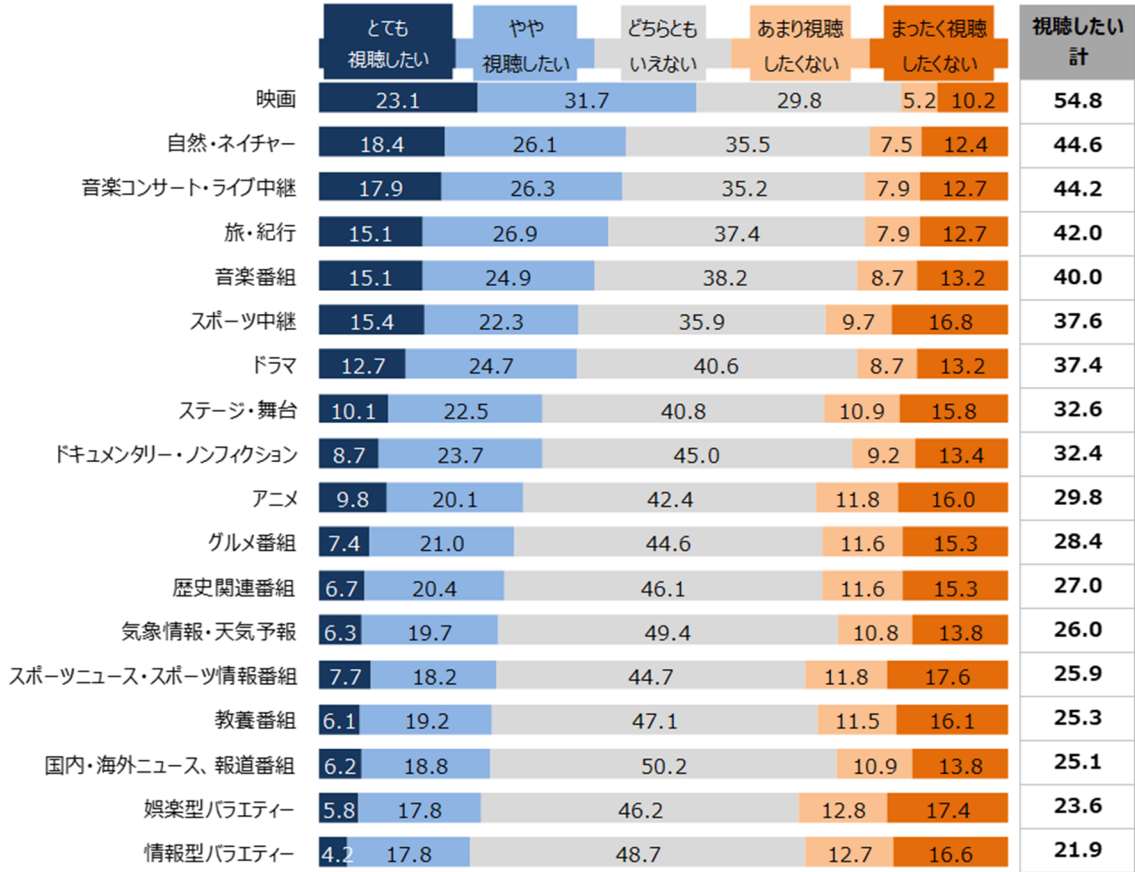
新4K8K衛星放送で視聴したい番組ジャンルについて、全体の結果と新4K8K衛星放送視聴経験者の結果です。全体では「映画」「自然・ネイチャー」「音楽コンサート・ライブ中継」「旅・紀行」「音楽番組」の順となっています。新4K8K衛星放送視聴経験者においても、順位は少し異なりますが同ジャンルが上位にあがっています。視聴経験者は、「映画」「自然・ネイチャー」「旅・紀行」「音楽コンサート・ライブ中継」の「視聴したい計」が70%を超え、全体に聞いた結果より数値が高くなっています。「ニュース、報道番組」「情報型/娯楽型バラエティー」「気象情報・天気予報」を除くすべてのジャンルで、半数以上が「視聴したい」と視聴意向を示しています。

グラフは次ページ

### ◆新 4K8K 衛星放送で見たいジャンル <全体>

【N=全体】 (%) (N=5000)

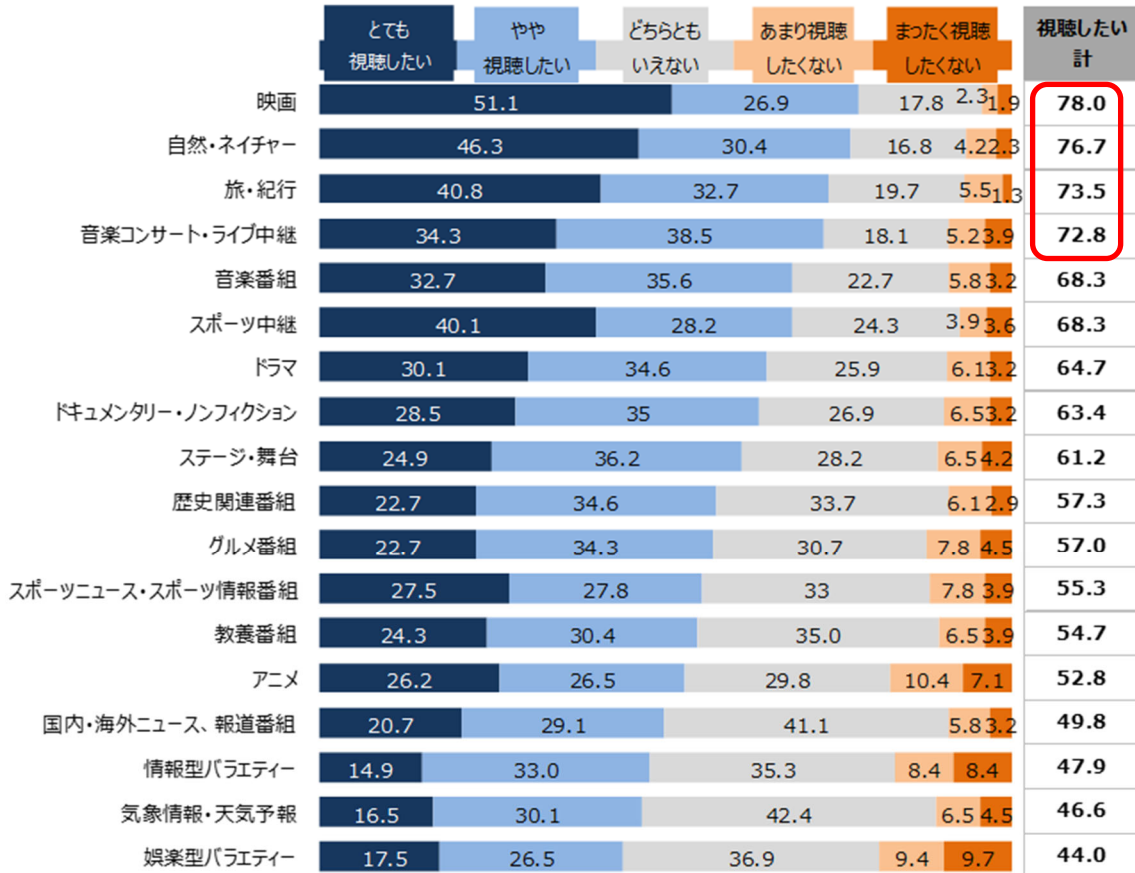
※全体(第14回)「とても視聴したい」+「やや視聴したい」の合算値で降順にソート



### ◆新 4K8K 衛星放送で見たいジャンル <新 4K8K 衛星放送視聴経験者>

【n=新4K8K衛星放送視聴経験者】 (%) (n=309)

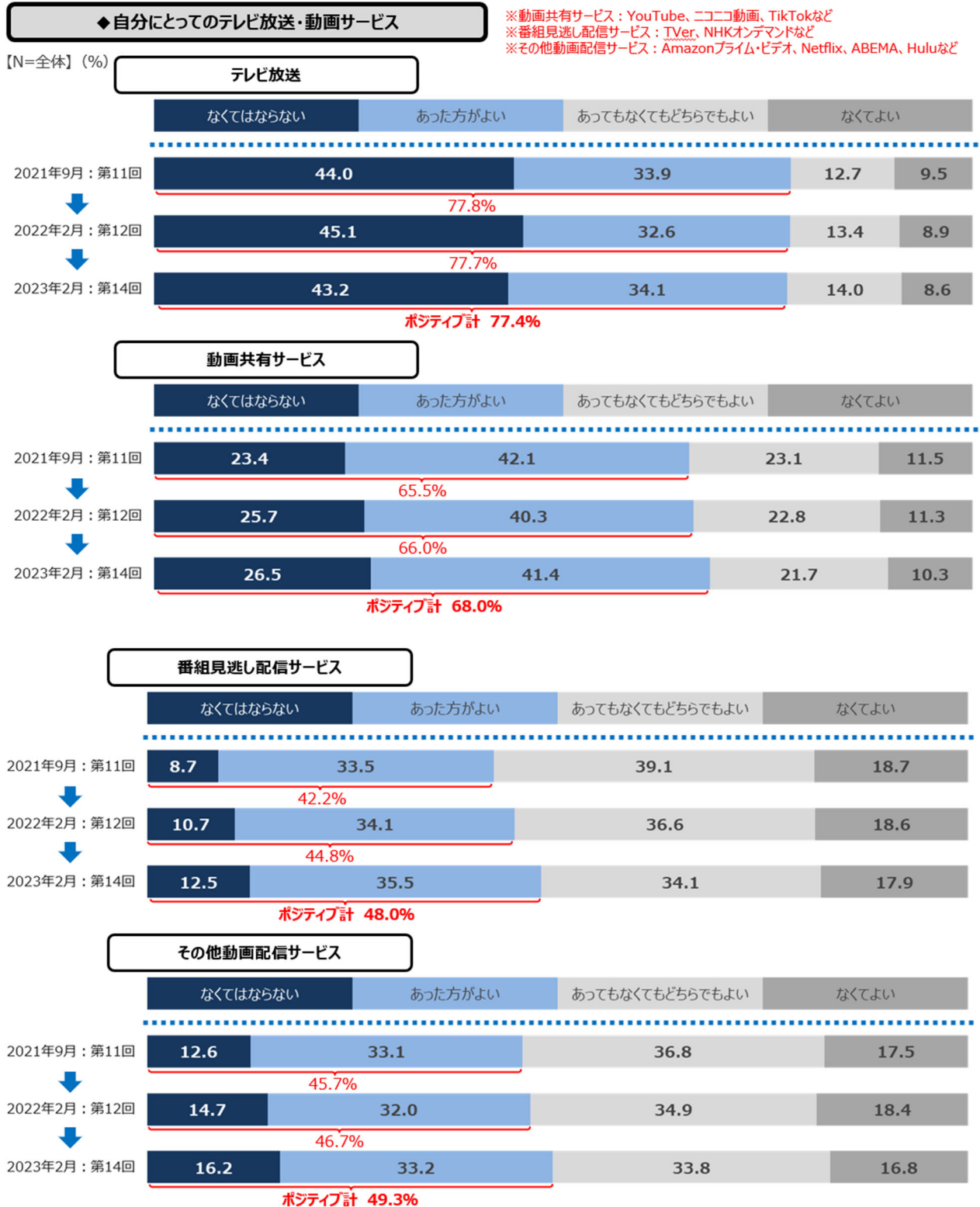
※新4K8K衛星放送視聴経験者(第14回)「とても視聴したい」+「やや視聴したい」の合算値で降順にソート



## 【テレビ放送のポジショニング】

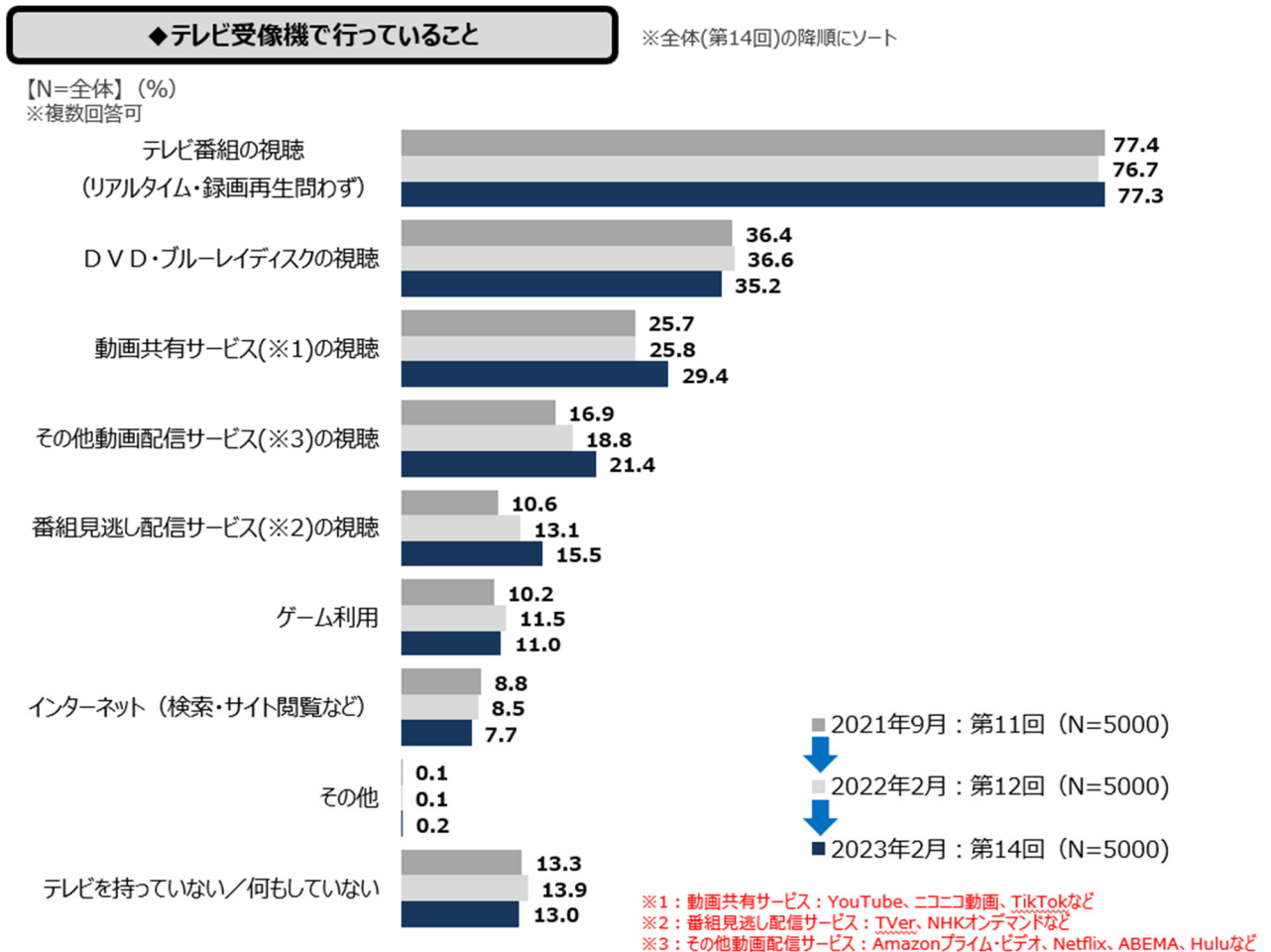
### 7. テレビ放送、動画サービスの位置づけ

テレビ放送、動画系のサービスについて、どのような存在かを尋ねたところ、最もポジティブに捉えられているのは、これまで同様にテレビ放送で、「なくてはならない」は4割以上、「あった方がよい」との合計は約8割でした。テレビ放送と動画サービスを比較すると、テレビ放送は過去調査からほぼ変動がみられませんが、動画サービスはいずれもポジティブな評価が緩やかに上昇しています。



## 8. テレビ受像機で行っていること

テレビ受像機で行っていることを、以下の選択肢を提示して聞いたところ、「テレビ番組の視聴」が突出しており、前回・前々回とほぼ同様となっています。「動画共有サービス」をはじめ、インターネット動画サービスが一般的に増加傾向です。





## 【調査概要】

◆調査手法	WEB 調査
◆調査対象エリア	全国 47 都道府県
◆調査対象者	上記エリアに居住する男女 20 歳～69 歳
◆サンプル数	計 5,000 サンプル（2017 年 7 月調査は 6,000 サンプル） ※住民基本台帳の性年代構成に基づいて割付
◆調査期間	2016 年 9 月調査 : 2016/9/17(土) ~ 9/19(月) 2017 年 7 月調査 : 2017/7/29(土) ~ 7/30(日) 2018 年 2 月調査 : 2018/2/3(土) ~ 2/4(日) 2018 年 9 月調査 : 2018/9/29(土) ~ 9/30(日) 2018 年 11 月調査 : 2018/11/10(土) ~ 11/11(日) 2019 年 3 月調査 : 2019/3/2(土) ~ 3/3(日) 2019 年 7 月調査 : 2019/7/20 (土) ~7/21 (日) 2020 年 5 月調査 : 2020/5/22 (金) ~5/24 (日) 2021 年 2 月調査 : 2021/2/19 (金) ~2/21 (日) 2021 年 9 月調査 : 2021/9/10 (金) ~9/13 (月) 2022 年 2 月調査 : 2022/2/25 (金) ~2/28 (月) 2022 年 9 月調査 : 2022/9/9 (金) ~9/11 (日) 2023 年 2 月調査 : 2023/2/17 (金) ~2/21 (火)